



この一年を振り返り

新たな気持ちで新年を迎えよう



今年も残すところあとわずかになりました。現在行われている第3期工事は、エレベーター棟や本館と新館をつなぐ渡り廊下の建設など大掛かりなものがあり、ご覧のように旧正門には大きな土の山ができています。予定では、2月初旬に現在移動中の職員室などがきれいになった本館に戻り、いよいよ最終の第4期工事(主に西館)



へと進んでいきます。そして3月の卒業式前にはすべてが出来上がり、長かった長寿命化工事もめでたく終了という段取りです。皆さんにはいろいろと不便をかけていますが、一方でおそらく二度と遭遇することがないであろう変化していく学校の様子を楽しんでほしいとも思っています。

冬休み明けからはいよいよ全面二足制です。昇降口で上履きに履き替えるので、教室前の履き替えも今日が最後です。ここまで皆さんのその様子を見ていたのですが、結構靴をそろえてくれていたことに感心しています。私自身、それを見て自分もちゃんとしなければ、自分自身の行いを振り返るきっかけにもなりました。そこでこんな詩があったので紹介します。

はきものをそろえる

はきものを そろえると 心もそろう
心がそろうと はきものも そろう
ぬぐときに そろえておくと
はくときに 心がみだれない
誰かが みだして おいたら
だまってそろえて おいてあげよう
そうすれば きっと 世界中の
人の心も そろうでしょう



まさしく皆さんはこれを実践してくれていました。

ここからわかることは 「形は心を作り 心は形になって現れる」ということです。

知っている人も多いと思いますが、私はできる限り毎朝校門に立って、あいさつ運動を行っています。担任や学年の先生とは違い、私の立場はちょっと皆さんから距離があると感じているので、少しでも縮まったらと思いこのような形を続けています。そんなとき、やはり大きな声で挨拶を返してくれたり、ニコッと微笑んでくれたりすると、大変気持ちがよく、朝からすがすがしい気分になります。そして、少し近づいたかなという思いでまた次の朝も校門に立つのです。

皆さんはどうですか。友達と元気に挨拶が交わされたり、きれいに靴がそろっているのを見たりしたとき、どんな気持ちになるのでしょうか。そんな毎日の経験が、やがてその人の心となり、その心の在り様がまたその人の言動となって現れてくるのだと思います。

年明けからは教室前の靴そろえはなくなりますが、昇降口の下足箱、トイレのスリッパなど、あるいは、もっと違う形で「形の大切さ」を意識して、それぞれの心を作っていくってほしいと思います。

合わせて、この年末年始は、一年の中で最も地域やそれぞれの家庭の「伝統と文化」に出会い、体験する機会の多い時期でもあります。「大掃除」「年越しそば」「除夜の鐘」「初詣」「おせち料理」「年賀状」「お年玉」など、これらはすべて伝統と文化であり、「形と心」の関係そのものです。

短い冬休みではありますが、少しずつ変化しながらも代々継承されている年末年始特有の「形と心」を、ぜひ家族と一緒に楽しみながら、有意義な時間を過ごしてほしいと思っています。

12月是人権月間 ～「人権」は生まれながらもっている大切な権利です～

人類史上かつてない惨禍をもたらした2度の世界大戦への深い反省から、世界平和の確立のために人権の尊重こそが基礎であるという認識の下、1948(昭和23)年12月10日、第3回国際連合総会において世界人権宣言が採択されました。その日を記念して、国際連合は、毎年12月10日を「人権デー」とし、加盟国などに人権思想の啓発のための行事を実施するように呼びかけています。このことに基づき、日本では毎年12月4日から10日までを「人権週間」と定めていますが、京都市ではこれを更に拡充・発展させ、12月を「人権月間」と定めています。

本校ではこれに先立ち、11月下旬に全学年で人権学習を行いました。

「人権」は、誰もが生まれながらにもっている、人間らしく生きる権利のことです。しかし、この世の中にはそれが脅かされている様々な問題が存在しています。それらをどのようにとらえ、そのことに対して自分は何ができるのかについて考えるのが人権学習です。

1年生は、障がい者に関わる問題について考えるために、27日(月)に車いすバスケットボールチーム「京都アップス」より2名の講師さんをお迎えして、車いすバスケを体験しました。全員が車いすの操作を体験した後、代表者による男女別クラス対抗戦を行いました。低い車椅子の位置から打つシュートは本当に大変そうで、なかなか得点は入らなかったのですが、それでも講師さんがそれぞれ分かれて入ってくださったおかげもあり、試合は大盛り上がり。最後には、講師さんに障がいをもつに至った経緯からこれまでの足取りをていねいにお話ししていただき、この問題を身近に、そして前向きに考えることができました。

2年生と1組は、校外学習で24日(金)に「人権ゆかりの地」を班別で巡りました。市内には様々な人権ゆかりの地が点在しており、教室で学んできたそれぞれの場所や事柄を思い出しながらそこで生きた人々の跡をたずね、後日班ごとに壁新聞にまとめました。改めて基本的人権や自由、平等、平和などの大切さと、それらを手に入れるためにどれ程たくさんの人の情熱や努力が積み重ねられてきたかについて、今を生きる私たちが歴史を振り返るなかから学び、人権についてひとつ理解を深めることができたと思います。



3年生は、多文化共生社会について考えるために、22日(水)に孫 美幸先生をお迎えして、「境界に生きる～暮らしのなかの多文化共生～」をテーマに講演していただきました。在日コリアンの父、韓国釜山出身の母をもち、京都で生まれ育った孫先生は、京都市の中学校教師をへて現在は大阪大学大学院で研究職に携わっておられます。在日コリアンとして、日々の暮らしのなかで考えておられることを終始朗らかにわかりやすく伝えていただき、それを受けて3年生からも前向きな質問がたくさん出て、平和や多文化共生の大切さをしっかり考えることができました。



PTAも 負けじと 街頭啓発!

12月2日(土)、京都市PTA連絡協議会による人権尊重街頭啓発活動が市内各地で行われ、本校PTAも今年度は中京支部西ブロックの運営担当校として活動を行いました。10時から中京中学校の体育館をお借りして事前学習会をもち、11時から参加していただいた小・中・高の15校約100人がJR二条駅周辺に分散して、声をかけながら人権啓発グッズを配布しました。当日の活動は京都新聞社にも取材していただき、その日の夕刊には写真入りで掲載されました。



税の作文 見事入賞! おめでとうございます

12月4日(月)、京都地方合同庁舎で「税の作文」表彰式が行われました。本校では、3年生社会科の夏休み課題として取り組んでいます。そのうち中村大嗣君の作品が中京税務署長賞に、中村琴羽さんの作品が中京納税貯蓄組合連合会長賞に選ばれました。

学校ホームページをご覧ください。

学校の取組の様子などを掲載しています。
<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/nishinokyo-c/>